

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

本研究への参加は自由です。この研究への参加を断った場合や、参加に同意され、研究が開始された後に参加を取りやめることになった場合においても、患者様は一切不利益を被ることはありません。また、研究への参加を同意した場合であっても、随時撤回することができます。

研究課題名 (承認番号)	急性胆管炎における狭域抗菌薬選択のためのスクリーニングツールの開発と検証 (261012)	
当院の研究責任者	大西 克浩（薬局）	
本研究の目的	急性胆管炎において、耐性菌リスクの低い患者に対する過度な抗菌薬の使用は、薬剤耐性菌の出現や抗菌薬関連の副作用（偽膜性腸炎）の発症リスクを高める可能性があります。これまでに初期治療として狭域抗菌薬（腸内細菌叢や耐性菌産生リスクの少ない抗菌薬）を安全に選択できる患者を抽出するスクリーニングツールを開発・検証した報告はありません。そこで、本研究では、耐性菌リスクの少ない型の予測モデルを構築するとともに、その結果に基づくスクリーニングツールを開発・検証することを目的としています。	
調査データ該当期間	2017 年 1 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日まで	
研究の方法 (使用する資料等)	●対象となる患者さま 上記期間に当院で TG18 の急性胆管炎診断基準を満たし、入院時に採取した血液培養が陽性であった患者さま ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する	
	患者背景	年齢、性別、既往歴、薬剤歴、入院歴、胆管炎の原因、重症度
	入院時の身体所見	意識障害、循環不全および呼吸障害の有無、体温
	臨床検査所見	白血球数、血小板数、総ビリルビン、アルブミン、血清クレアチニン、プロトロンビン時間、血液培養および胆汁培養の培養結果、検出菌および薬剤感受性試験結果
	治療内容	入院時に選択された抗菌薬、処置内容、入院から処置施行までの時間
	転帰	30 日死亡の有無、胆管炎再発の有無
試料/情報の他の研究機関への提供 および提供方法	他機関への試料・情報の提供はない	
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。	
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません	
お問い合わせ先	Tel:(0568)76-4131(代表) 担当者:薬局 薬剤師 大西 克浩	
備考		
